

ケルセチン

MEDIANCE
抽出物シリーズ

業者向け資料

ケルセチンとは

「ケルセチン」はタマネギの皮や蕎麦などに多く含まれるポリフェノールの一種です。ビタミンと似た働きをすることから「ビタミンP」とも呼ばれております。「ケルセチン」には抗酸化作用や、血液中のLDL-コレステロール(悪玉コレステロール)の除去を促すことで、動脈硬化・心筋梗塞・生活習慣病などの予防に効果が期待されております。

メディエンスのケルセチン

推奨量:ケルセチンとして150mg~/日
(原料として160mg~/日)

メディエンスのケルセチンは
エンジュ(マメ科)植物から抽出した食品添加物です。
「ケルセチン」として94.0%以上含有しております。

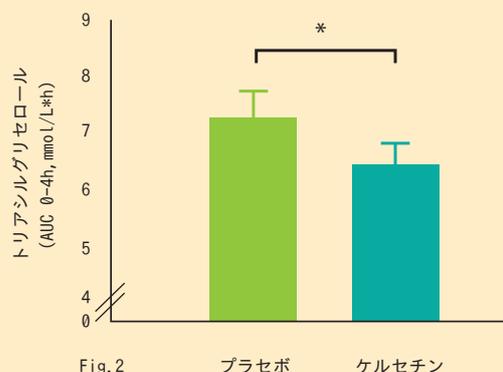
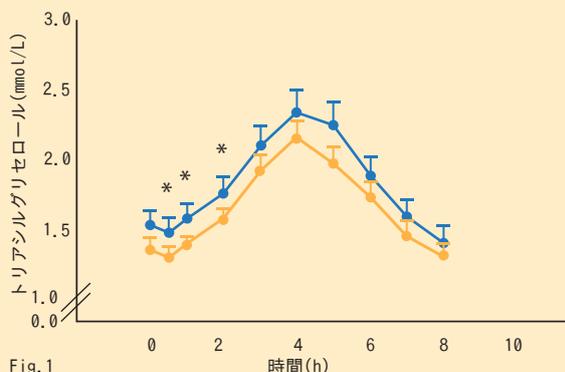


エンジュ
(中国産)

心血管症状の緩和・メタボリックシンドロームの改善効果

48-68歳の健常男性49名に1日あたりケルセチン水和物150mgを8週間摂取させ、食後の血中中性脂肪について評価しました。食後の血中トリアシルグリセロール濃度は、食後30分、1時間、2時間後において、プラセボと比較して有意に低値を示しました($p < 0.05$) [Fig.1]。また、食後0から4時間の血中トリアシルグリセロール濃度のAUC(下面積)は、プラセボと比較して有意に低値を示しました($p < 0.05$)。 [Fig.2]

出典: Nutr Metab Cardiovasc Dis.2013;23(5):403-409.



みんなへ

動脈硬化
予防

免疫
サポート

血流改善

コレステロール
低下

抗炎症作用

アンチ
エイジング